

幼 兒 教 育

第十九卷
第九號

大正八年九月一日發行

幼稚園と小學校との聯絡問題

東京女子高等師範學校
教授附屬小學校主事

藤 井 利 譽

子供は將來直接に大なる社會と交渉をもつ前に、先づ學校で教育を受ける。其學校教育の更に前に幼稚園教育をうけると云ふ事が幼兒の精神發達の過程に於て、誠に必要な事であると云ふ事は既に一般に認められて居る事と思ふ。また幼稚園と小學校との聯絡は學校と家庭との聯絡關係よりも一層密接でなければならぬと云ふ事も充分認められて來た。多數の子供は六歳頃になると、急に文字の意味及び思想の價値を理解して來る。この時代における子供の心的活動は、幼稚園の終り頃及小學校初年級の時期にあつて、漸次に經驗を擴めて行くものである。其故に此兩者の間には、常に聯絡を保つて行かなければならない。其方法としては教育の道を沿ふて、兒童精神發達の段階を歩一歩、漸進的に進めて行くべ

きである。第一階は第二階のの出發點であつて、從て先づ進路の一般的方向が定まつて、幼稚園も小學校も其教育方針は其進路に向つて進まなければならぬ。即ち幼稚園としては教育の次の段階たる小學校一年級に子供を送るに當つて、進路の其段階まで充分に幼兒を導いて來なければならぬ。そこで小學校及幼稚園と云ふものが最善の教育的理想に從つて、教育を行つて行くならば、幼稚園は慥かに其の發達時期にある子供を完全に發達せしめる様に力を盡して、適確に小學校第一學年の準備となるのである。而して次の段階たる小學校は、此發達しつゝある子供一人一人を完成させるための助成を繼續して行く事になるのである。

しかるに、この兩者間の聯絡は、現在の狀態として

はまだ、充分とは云はれない。しかもこの間に幾多の疑問が起り、批難も湧いて来るが、其批難は主に幼稚園教育の方に向つて發せられるのである。こは恐らく幼稚園が最近に、一般教育系統の中に加し來り、而も其れ自身の教育理想を實行しやうと務めて居るからである。丁度昔からの家風があり方針の一定して居る家庭に新たに來た嫁が自分の新しい主義を實行しやうとして一つ一つ批難を受ける様なので、小學校初年級の方は其目的及實行は多年の經驗を経て既に明らかに其輪廓を形成して居るのであるが、此同じ教育系統に加入し來つた幼稚園が獨立の教育所として自ら教育を實行しやうする道程にあるためにいろ／＼の批評も向けられる譯である。

そこで此兩者の關係を如何にすべきかと云へばそれは實に調和にある。しかも此調和とは幼稚園及小學校教育者の各々が有する獨特の理想そのものの妥協を云ふのではない。各時期に於ける子供の發達を最善ならしめるための調和を云ふのである。以前から此兩者間の關係を密接ならしめんがために種々なる問題が攻究せられて居るが其の中で先づ小學校の

側から幼稚園の方に要求する所を見ると、即ち幼稚園を経て來たものと、直接家庭から來たものとを比較する、そして其の優劣を云々するのであるが此研究の結果が何處迄正しいものであるか私には解らない。而しどうもこの比較研究の上に科學的統計的研究に對する基礎が不充分ではあるまいかと思はれる事がある。思ふに小學校長及教師が其の比較研究に當つて有する理想及實驗の方法などは、各地、各人一樣ではない。小學校初年級に對しての要求を過大にする當事者は、其の前にうけた教育、即ち幼稚園に對しての希望も大とならう。又之を實際調査する上でも、單に、學業成績にあらはれたものなどによるとすれば、これ實に其の標準に於てひろく一定不變を望む事は到底不可能な事である。

嘗つて米國教育局に於て調査した結果を見ると、米國各地の視學官、小學校長及第一學年教師の意見に依れば、幼稚園を經過した子供は種々の點に於て有利な成績をあげてゐると斷言してゐる。しかるに、又之に對して少數の反對者がある、例へば幼稚園から來た者は注意が集注せぬとか、忍耐力が足らぬとか、不眞面目であるとか云ふ。しかしかゝる批難

もよく考へて見れば幼稚園時期に正しい教育的影響をうけなかつた爲めであつて、もし子供の最善の發達を眺めるならばかゝる批難は適用されなれないと思ふ。熱心に遊戯をなし、自分の選んだ仕事を一生懸命にして居る満六歳の子供は、かゝる見當違ひの批難はうける事は決して願はぬであらう。

しかし、幼稚園の教育は小學校教育の準備として適當であるとしても、又希望として小學校の立場から幼稚園にむかつて注文がある。今、米國の例をとつて云へば、彼地の小學校教育家は次の様に、幼稚園に對して希望をのべてゐる。

(一)手工教授を受ける時に、今一層獨立的活動が出来る様にして欲しい。

(二)作業をする際に今一層靜肅にして欲しい。

(三)入學の年齢の制限を撤廢して、子供の發達に應じて小學校へ送る様にして欲しい。

(四)幼稚園の時期は餘り長くないが宜しい。繰返しをする事は興味を鈍くし、努力なしに働く習慣をつけてしまつてよくない。

(五)話し方に於て、正しい國語の使用を今一層注意して練習させて欲しい。

(六)幼稚園で、今少し讀み書きを入れてはどうであらう。

以上の様な注文があるが此に對して幼稚園側の教育者も黙つては居らない、又小學校に對して希望する。其の一例をあげれば、

(一)小學校に今一層手工を多くして欲しい。

(二)もつと小學校が自由を與へて寛大なる訓練をする様にして欲しい。

(三)小學校でも、移動する事が出来る椅子、テーブルを使用して(米國の椅子、テーブルは固定的なるが多い)遊戯をなしお話を聴く時には坐席を輪狀にする事が出来る様にして欲しい。

(四)小學校は兒童の教育に一層個人的注意を與へる様にしなければならぬ。

(五)作業を今一層創造的にしなければいけない。教師の指圖によらず、自發的にする仕事を多くしなければならぬ。

以上を概観して見ると、幼稚園の教育は小學校の教育に有效なる準備をなすものであると云ふ事は云はれ、幼稚園は此目的のためにも仕事をなして居ると云ふ事は争はれない事である。

扱、兩者各々他に向つての注文は種々あらうけれども、兩者の調和を計るためには、其の互の希望を如何に判断すべきかと云ふ事にある。大體論としては、幼稚園の先生は一層小學校の教育を研究せねばならず、小學校の教師はまた幼稚園の仕事をよく理解して幼稚園の教育方法を今一層小學校教育の中に導入する様にせなければならぬ。また幼稚園及小學校の協議會も開かれる様にしたい。また事情の許す限り小學校一年級は幼稚園の保姆がそのまゝ子供を持ち上つて教へ、一方に小學校の教師が幼稚園の保姆を實際經驗して見る事も必要である。父兄會を開くにしても、合併して開く事などもよいと思ふ。

而して、教育法の改善としては、小學校に、今少し手工を澤山入れて教授法を一層自由な組織のもとに行ふ様にし、教室の設備なども、やゝ幼稚園的につくり、椅子、腰掛も自由に移動が出来る様にした。また一年生の學級人員を餘程少くしなければならぬ。米國教育者の多くの人は、小學校の一學年は三十名を適當とすると云つて居る。

幼稚園の側から小學校教師に對して批難の大なる

ものが一つある。それは小學校一年級を受持つ教師には、どうも母性的感情マタニティ・フィーリングが缺乏して、餘りに先生らしくいかめしいと云ふ事である。もしかかる事が事實であるとすれば、如何に方法の上で聯絡を云々した所で、教師の人格そのものにかかる缺點があるとすれば、これ實に他の何物よりも大なる聯絡上の妨げと云はねばなるまい。

この外向聯絡上必要な問題としては、米國あたりでは、幼稚園と小學校の一年二年生（即ちブライマリースクール）の視學は同一の人がやつて居るが、これもよい事であると思ふ。彼地のある教育家はまた幼稚園と小學校との間に中間學級を設けて聯絡をはかる様にとの意見をのべて居るが、今日一般の傾向はかかる必要は認めない、寧ろこの二つを結びつけて、恰も一つの學校の如くに考へ、一人の視學官が之を監督指導する事を適當とするのである。現にポストン市ではこの理想を實行してゐる。

以上は唯現在に於ける小學校、幼稚園の聯絡を如何にすべきかと云ふ事であるが、將來幼稚園教育に携はるるものの教養上、また考ふべき事がある。即ち

師範學校教育の改善と云ふ事である。これ迄我が國の師範學校では、保育法に就て多少其の理論並に實際を研究して居る事であらうが、今一層この幼稚園教育の研究を進め、即ち幼稚園と小學校とは繼續的教育の系統の中にあるものであるとの意義に於て、師範教育の學科課程及實行を進めて行かなければならない。

要するに幼兒の發達の上に自然的に四才頃から八歳頃迄の繼續的發達或は其發達の割合、或は興味心的能力などは極めて明瞭に理解される事が必要で、これを今日の師範教育に於てはこの教育時期の連續

岡山市の幼稚園について

——岡山市に於ける講演——

當市に幼稚園は八つありまして、縣立一、私立一市立六で、市立は何れも各尋常小學校に附設して居ります。各園には一人の主任保母をおき、その上に一人の園長をおきまして、全市保育の統一を謀ります。そして園長は一週に一日各園に勤務することになつて居ります。園兒の指導は勿論保母がいたしま

を切り放してしまつて考へて居る事はなからうか。六歳以前とか六歳以後とか云つてわけてしまふ事はよくない。子供の變化して行く時期は曆できめることは出来ぬ、専ら心理的に年齢を考へなくてはならぬ。

幼稚園が小學校と切り放す事の出来ない關係を有して居る以上、其の連結的發達に必要な教育上の方法の實際は、今後益々研究して行かなければならぬ。これについても英國で行はれてゐるインフハントスクールの教育法などは大に參考すべきものであると思ふ。(談話……文責記者)

市視學 貞松修藏談

すが、經費支出其他市との關係などについては、各小學校長並びに主任保母協議の上夫々處理し、保母任用につきて採選は園長及び校長連署の上内申することになつて居ります。

現在市立幼稚園六ヶ所の總幼兒定員は一千四十人(この内には九月より開園する内山下校附設幼稚園